



「あーあの二人ね……彼らと知り合う機会があれば無視してもいいけど、
できたら仲良くしてあげてね(殺しちゃ駄目だよ)」

(主様がああ言ってたけど……実際に片方と遭遇して調子を合わせていく内に
なぜか近くのホテルでセックスをすることになってしまったわ……)

ドキ

ドキ

「音楽のことはよくわからないけどあの有名なシロンさんとお知り合いになれたうえに
エッチまでできるなんて光栄です!あとやつぱりおっぱいデカいつすね!」

「わ、私もエッチなことはあまり経験がないからお手柔らかにお願いね……」
(な、仲良くつてどこまでなの!?このまま本当にしちやつていいのかしら?)

ビクッ

ビクッ

「ぢゅう、じゅるるる……はあ、シロンさんキス上手いつすね。けどもつと唾液と舌を絡めてください」

「じゅるる……ぷは、そ、そうですか？けどキスはあまりしたくありません……」
（うええ……あ、主様とまだキスもしてないのにどうしてこんな男と……）



れろっ♡
はあー♡
ちゅ♡
いゅるるる♡
ちゅ♡

「じゃあこのデカイおっぱいは堪能させてもらいますね！すげえボリュームだなあこれだけ大きいと日常生活大変でしょ」

「は、はは……そうですね。けど女の子にそんな事言っちゃ駄目ですよ」
（スライム製だけど主様以外の男に揉まれるのはやつぱり不快感凄いわね。ビクッ♡）
けどこんなシチュエーションなのに男性と肌を合わせると少しドキドキしちゃう……）



ビクッ♡
んっ♡
ドキ♡

ドキ♡

「シロンさんのおま○こすっげ……もうヌルヌルじゃないですか。どれだけ期待してるんですか」

「恥ずかしいから近くでにまじまじ見ないで……鼻息当たってるわよ」

「おま○こもア○ルもすっごく綺麗ですよ」

（その台詞は最初に主様に言ってもらいたかったわ）

ドキ♡
ドキ♡

はぁ♡

はぁ♡

ドキ♡
ドキ♡

むわぁ♡

にぢ♡

にぢ♡

しゅ♡

「あれ、なんだかちよつと液体の量が増えてきましたね。もしかして興奮してます?」

「そ、そんなわけないわよ。恥ずかしいからもうこの体勢いいかしら」
（主様に見られてることを想像したらちよつと興奮してきちゃった……）

「もう少しだけこのポーズで我慢してくださいね」

「シロンさんのおま○こすっげ……もうヌルヌルじゃないですか。どれだけ期待してるんですか」

「恥ずかしいから近くでにまじまじ見ないで……鼻息当たってるわよ」

「おま○こもア○ルもすっごく綺麗ですよ」

（その台詞は最初に主様に言ってもらいたかったわ）

ドキ♡
ドキ♡

はぁ♡

はぁ♡

ドキ♡
ドキ♡

むわぁ♡

にぢ♡

にぢ♡

しゅ♡

「あれ、なんだかちよつと液体の量が増えてきましたね。もしかして興奮してます?」

「そ、そんなわけないわよ。恥ずかしいからもうこの体勢いいかしら」
（主様に見られてることを想像したらちよつと興奮してきちゃった……）

「もう少しだけこのポーズで我慢してくださいね」

「じゅるるるるっ……愛液が次々溢れてくるしシロンさん興奮しすぎ」
「あ、アソコを舐めるだなんてエッチつてこんなことまでされるの!？」
「別に普通のことですよ。シロンさんも気にせず気持ちよくなってください」
「あ、ありえないのに……こんなことを妄想するのも駄目なのに」
主様にされてると思うとイ、イツちやいそっ……」

わっ

じゅるるるるっ

ビクッ

え!?

アソコ……!

「じゃあ次に本番いきまじょうか」

「え……も、もう終わりなの?」

「も、もう少しでイケそうだったのに……」

「シロンさんお○んこ舐められるの好きなんですネ。

ほら、ち○ぽ突っ込んであげるから楽にしてください」

「じゅるるるるっ……愛液が次々溢れてくるしシロンさん興奮しすぎ」
「あ、アソコを舐めるだなんてエッチつてこんなことまでされるの!?!」
「別に普通のことですよ。シロンさんも気にせず気持ちよくなってください」
「あ、ありえないのに……こんなことを妄想するのも駄目なのに」
主様にされてると思うとイ、イッちゃいそう……」

わっ

じゅるるるるっ

ビクッ

んんん

「じゃあ次に本番いきまじょうか」

「え……も、もう終わりなの?」

「も、もう少しでイケそうだったのに……」

「シロンさんお○んこ舐められるの好きなんですネ。」

ほら、ち○ぽ突っ込んであげるから楽にしてください」



んっ♡♡♡

はっ♡

はっ♡

パン

パン

パン

ぐっ♡

ぶっ♡♡♡

ちゅ♡

ぐっ♡

ぬっ♡

はっ♡

んっ♡♡♡

ぶっ♡♡♡

んっ♡♡♡





ビクッ

あゝ♡

はぁ♡♡♡

おゝ♡♡

ん♡♡♡

♡ビクッ♡

♡ん♡

♡ん♡





















